



輝き



～「Open Share そしてTeamで」～

令和4年6月1日発行 三木市立三木特別支援学校

あいさつ

- 「おはようございます。」
- 「いってきます。」
- 「ありがとう。」
- 「ごめんなさい」
- 「いただきます。」
- 「おやすみなさい。」

おはようございます!!



ペコリと頭を下げる、深々とおじぎ、ハイタッチ
指と指を合わせる、そして元気な声……。方法は、様々
ですが、その一瞬でつながりを感じます。

その日、その時のその子どもの状況が伝わってきます。

生きていくうえで、いろいろな力が求められますが、あいさつもその一つです。

どこでも、だれとでもつながるきっかけとなるのが、あいさつだと考えます。自分流のあいさつと笑顔で、誰かとつながることができれば「生きる力」となります。

あいさつは人と人をつなぐパスポート。そして自分をも元気にするエネルギー。

学校でのいろいろな場面での積み重ねが、少しでも子どもたちの力になればと願う毎日です。

時には自分自身にも「おーい、元気かあ。」と呼び掛けてみるのもよいかもしれませんね。



進路研修会から……



5月24日(火)に藤田 洋三 様(県立のじぎく特別支援学校)、森 一人 様(北播磨障害者就業・生活支援センター)を講師に進路研修会を開催しました。

保護者の方の感想より(抜粋)

○高校生活の日常がよくわかりました。また、卒業後の進路もイメージできました。日常生活の中で、挨拶やお手伝い、ルールを守ることなど、どんどんさせていきたいと思いました。

○スライドの写真から、一人一人の状態に応じた対応をしている様子が見受けられ、少し安心しました。「将来どういう大人になってほしいか考えてほしい。」という言葉に改めて考えさせられました。

参加いただいた先生の方の感想より(抜粋)

○担任している子どもが進路について迷っている。中学校のことだけではなく、先のことも見通して、少しでも多くの情報を保護者に伝えたいと思います。

○進路を決定する中で、大人をイメージし、家での役割を果たし、褒めることから自己肯定感を高めることが大切だと思いました。子どもの強みを見つけることや、どのような大人になってほしいかをイメージする重要性を感じました。

進路を考えていくうえで、自分の強みや苦手を知ること、ルールを守ること、大人をイメージして居場所と出番を保障していくことの大切さ等について貴重な示唆を得ることができました。ご家庭と連携しながら今後の取組に生かしていきたいと思います。

(校長 佐野 順子)

あいさつ

へびいちのすけ

さんぽを しながら
ぼくは しっぽに よびかける
「おおい げんきかあ」
すると むこうの くさむらから
しっぽが ハキハキ へんじをする
「げんき ぴんぴん！」
ぼくは あんしんして
さんぽを つづける



工藤直子 詩集「のはらうた」より